



東京未来スタイルはオランダのラドバウト大学内の産業育成施設に事務所を開設した

## 東京未来スタイル

# 研究試薬の輸出入強化

## オランダに事務所開設

バイオ系の貿易商社、東京未来スタイル（つくば市千現、遠藤隆社長）は欧州に本格進出する。4月、オランダ国内に同社の欧州事務所を開設。主力とする研究用試薬の輸出入業務について、欧州の大学や企業と連携し新製品を開発、国内で販売する。国内ベンチャー企業の商品も欧州で販売を拡充。ドイツやオランダといった医薬先進国向けに、新拠点を生かして事業を広げる考えだ。

同社は今年1日、同国ナイメーヘン市のラドバウト大学ノビオテック・キャンパスにある医学部インキュベーション施設内に事務所を開設した。

インキュベーション施設は、大学がベンチャー企業などと組んで新事業をつくり出し、育成する施設。同社は製品の取引がある同国の企業の情報を得て、事務所開設を決めた。同社は新事務所を拠点に、欧州の大学との

連携で開発した製品を日本国内で販売する。同時に、日本国内の大学発ベンチャー企業が開発した製品の欧州での販売を強化する。

オランダのほか、ドイツやベルギー、フランスを含む欧州各地域で連携や市場開拓を進めるため、足掛かりにする。

同社は、自社で築いた国内ベンチャー企業と大学のネットワークを生かし、技術を連携させて新規製品を開発している。製品は国内外市場で販売を展開。数種類の製品を市場に投入している。

遠藤社長は「欧州市場は研究試薬の分野では先進的で、意思決定も速く、取引や市場開拓はやりやすい。展示会にも積極的に出展して、ニーズを掘り起こしたい」と話した。

（綿引正雄）